

東北地方向け基本方針

- 地域の安全・安心を支えるため、地震や東北各地で発生する大雨、大雪などの自然災害から“命と暮らし”を守る防災・減災や災害時に役立つ情報を放送やデジタルを駆使し幅広く届けるとともに課題を検証し、公共メディアの役割を果たします。発生から14年となる東日本大震災と原発事故の記憶と教訓を次の世代に伝え、人々の心のケアといった課題に向き合います。
- 人口減少や地域医療、農業や漁業の継承、震災と原発事故の被害を受けた地域の再生といった東北地方の課題を丁寧に取材します。身近な生活への影響や解決へのヒントを多彩な番組やニュース企画でタイムリーに伝え、地域の人々から信頼される放送局を目指します。選挙報道では、有権者の判断のよりどころとなる情報をすべての世代にわかりやすく、深く、公平・公正に伝えます。
- 大学生や高校生などこれからの東北を担う世代の活動を放送で取り上げ、若い世代とともに東北の未来を考えます。現役世代やファミリー層の関心に応える番組や企画を制作し、NHKプラスをはじめホームページやSNSなどのデジタルを活用し発信することで幅広い年代との接点を創出します。
- 東北の豊かな自然や文化、祭りなどさまざまな魅力を発信します。「パリオリンピック・パラリンピック」で活躍が期待される地元選手、プロ野球やサッカーJリーグ、バスケットボールBリーグといったプロスポーツ、高校野球などのアマチュアスポーツを積極的に取り上げ、地域と一緒に応援していきます。多彩なコンテンツとともに視聴者と交流する機会を設けることで地域をつなぐハブとなり、活性化に貢献します。

各局の重点事項

仙台放送局

- 平日午後6時台のニュース・情報番組のさらなる定着を目指します
“宮城の今がどこよりもわかる”をキャッチフレーズに、県政、産業、気象、事件・事故など地元のニュースや県民の“知りたい！”情報を、生活者目線に立った取材で丁寧に届けます。地域の食や伝統文化の豊かさを伝え、寄せられた疑問に答えるコンテンツなどの視聴者参加型の企画も展開することで地域の人々とながら情報発信します。また、放送だけではなく、デジタルコンテンツも充実させることで、現役世代にしっかりと届けます。
- 地域の魅力や課題を多彩な番組で届け、視聴者とのつながりを強化します
著名人の東北への思いがあふれる公開生番組や、地域に入り込んだ取材で人とのつながりを体感できる番組など、視聴者とともに宮城や東北の魅力を再発見できるコンテンツを強化します。スポーツイベントや祭りや連動し地域を盛り上げ、テレビ、ラジオ、デジタルそれぞれのメディアの特性を生かし幅広い世代とのタッチポイントを増やします。人々の関心が高いテーマを深く掘り下げるとともに、震災の教訓を次世代に継承する取り組みにも力を入れ、防災や減災への意識醸成につなげます。

秋田放送局

- 地域の公共メディアとして県民の命と暮らしを守ります
秋田県内では、近年記録的な大雨や大雪、猛暑による災害が相次いでいます。週末や祝日も含めた毎日午後6時台のニュース・情報番組を中心に、防災や減災に関する情報を継続的に発信するほか、災害発生のおそれがある段階から、テレビやラジオに加え、インターネットも活用して県民にとって必要な情報を伝えます。2023年7月の記録的な大雨による水害については、被災者支援の課題や今後の治水対策などを引き続き取り上げ、番組で詳しく伝えます。さらに、クマの異常出没など、地域の安全・安心を揺るがす事態には、正確・迅速な情報発信と多角的な分析で取材・放送にあたり、地域の公共メディアとして県民の命と暮らしを守る役割を果たします。
- 地域の課題に向き合い、地域の魅力を発信します
2024年は、大潟村開村60年、「あきたこまち」誕生40年です。秋田の基幹産業である農業が抱える課題を取り上げるとともに、新たな産業として期待される洋上風力発電が県内経済に与える波及効果について考えます。加えて、人口減少が地域に与える影響や中小企業の人手不足・後継者不足、サッカーの新スタジアム建設といった地域の関心が高いテーマを深く掘り下げていきます。また、伝統の祭りや民謡、豊かな自然や食など秋田の魅力を幅広く取材し、全国に発信します。2026-27シーズンから始まるバスケットボールの新B1リーグへの参入を目指す「秋田ノーザンハピネッツ」やサッカーリーグ「ブラウブリッツ秋田」など、地域のスポーツを中継やニュース・情報番組で伝え、秋田を盛り上げていきます。

山形放送局

- **放送・デジタル・イベントの連携で、暮らしを守る情報を発信し、地域に貢献します**
“やまほど、やまがた愛”のキャッチフレーズのもと、豪雨や台風、大雪などによる自然災害から命を守る情報を、放送とデジタルを駆使して、平時からきめ細かく発信します。また、最上地域で番組やイベントを集中的に展開するプロジェクトを全局体制で推進するとともに、サッカーJ1への復帰を目指す「モンテディオ山形」などのスポーツ中継も積極的に行い、コンテンツと連動したイベントや、デジタル展開により、地域に元気を届けます。
- **“課題先進県”として地域の課題に向き合い、必要とされる放送局を目指します**
平日午後6時台のニュース・情報番組と金曜午後7時台の地域放送番組では、少子高齢化や過疎化、主要産業である農業を巡るさまざまな問題など全国に先駆けて進む課題に向き合い、“課題解決型”の情報を発信します。また、3年目を迎える土曜午前9時台の番組では、親しみやすさとわかりやすさを大切に、働く世代や若い世代に情報をしっかりと届けます。これら個性あふれる3つの番組を効果的に展開していくことで、地域の期待に応えます。

盛岡放送局

- **さまざまな媒体を通じて、若年層をはじめ幅広い世代に地域の情報を届けます**
年々脅威を増す自然災害から命と暮らしを守るため、L字型画面やデータ放送を含むテレビ・ラジオ・インターネットなど、あらゆるメディアを活用して正確・迅速に情報を発信し、身を守る行動につなげてもらえる防災・減災報道に注力します。東日本大震災を風化させないため、岩手県内の復興の姿や課題を、全国・世界に発信していきます。若年層の接触率向上につなげる施策として、各地の子どもたちと作る「いわてみんなのうた」や、人の集まる施設でNHKの取り組みやコンテンツを知ってもらう広報拠点を運用するなど、幅広い世代の視聴者との直接的なコミュニケーションに取り組みます。
- **身近で役立つ情報やスポーツの話題を届け、今後も必要とされ続ける放送局を目指します**
平日午後6時台の番組は地域医療、人口流出など県民の関心が高い問題を掘り下げ、地域が抱えている課題の解決策を示し、目指す岩手の姿をともに考えます。また、主婦層や女性層を中心に、生活者の目線に立つて県民が知りたい生活・経済・健康の情報を届けます。県内全ての地域をそれぞれ重点的に取り上げる期間を設けることで地域に密着した情報発信をさらに強化します。大谷翔平選手をはじめ地元ゆかりのアスリートの活躍や、その周囲で選手を支える人々の思いを伝え、視聴者と一体となってスポーツを応援し地域から盛り上げます。

福島放送局

- **震災・原発事故の課題に向き合い、長期にわたる被災地の復興と地域振興に貢献します**

東日本大震災と原発事故からの復興の現状をはじめ今後も続く処理水の海洋放出や除染土の処分、なりわいの再建など福島の課題に向き合い、正確にわかりやすく多角的に伝えます。また地域の未来に目を向け、震災の経験や教訓を次世代へ継承する取り組みを県民とともに進めます。原発事故による風評の払拭(ふっしょく)にもつながるよう、食や自然、文化など福島県の魅力を放送とデジタルで県内をはじめ全国・世界へ発信し地域振興に貢献します。
- **県民に必要とされる情報発信を強化し、県民とともに、地域を応援する放送局を目指します**

台風や豪雨、猛暑など激甚化する自然災害に対し、県民の生命・財産に関わる情報を放送・デジタルで正確・迅速に伝え、防災・減災につながるきめ細かい地域情報の発信を強化します。また、地域を盛り上げるスポーツ・イベント・産業などを幅広く取材・発信し、県民とともに地域社会を応援します。県民の生活に直結する情報や未来を担う若い世代の新たな取り組みにも焦点をあて、幅広い世代にとって福島のきょうがわかり、あすの暮らしに役立つ放送局を目指します。

青森放送局

- **青森のいまをわかりやすく伝え、ともに未来を考えるきっかけを作ります**

人口減少や農林水産業を取り巻く環境の変化、生活インフラの維持など、深刻な社会課題に直面する地域だからこそ、ふるさとで豊かに生きていくための情報が求められています。“知りたい”と“信頼”に応えるために、日々のニュースに加えて子育てや医療、エネルギー施策といった、暮らしに直結する話題をデジタルも活用しながらわかりやすく伝え、地域のみなさんと青森の未来をともに考えるきっかけを作っていきます。激甚化する豪雨や台風、さらに大雪、地震をはじめとした自然災害に備え、防災意識を高める取り組みや関係先との連携に力を入れて、いざというときに頼れる存在であり続けます。
- **“使ってもらえる放送局”を深化させ、青森の魅力を発信します**

県内各地の夏祭りに戻ってきた熱狂とにぎわいに象徴されるように、コロナ禍を経たことで人のつながりの大切さが再認識されました。地域のみなさんと手を携えながら、地元愛にあふれた人々のネットワークを生かした番組や、身近な疑問や声に耳を傾ける取り組みをより充実させ、“使ってもらえる放送局”としての役割を深めます。また、豊かな自然や食材、文化、スポーツなどの魅力を県内・全国・世界に発信することで、地域の活性化に寄与します。局を飛び出して地域のみなさんとふれあう機会も積極的に設け、幅広い世代から親しまれる放送局を目指します。